



通信

HP 学校だより
R8.2.18
NO.39
文責 伊藤美佳



6年生との会食

卒業前に「校長先生と一緒に給食を食べる会」を6年生が計画してくれました。2月4日(水)に6年1組の1班からスタートして、6年3組、6年2組(1班が6人で各クラス4班ずつ)と進みます。子どもたちは、各面に話題を書き込んだサイコロを作り、それを転がして、出た目の話題で会話を楽しむように考えました。また、校長室に来る前に、お代わり分も入れてもらってくるちゃっかりものもあります。話題は、「好きなアニメやゲーム」「好きなスポーツ」「修学旅行の思い出」など、多岐にわたっています。「将来の夢」や「中学校で入りたい部活動」などを聞いていると、子どもたちの意外な一面が垣間見られて、本当に楽しい時間です。自分たちで考え、その場をより楽しいものにする姿勢は、これからも持ち続けてくれることを期待します。

6年生は、コロナ禍で入学式後に2ヶ月間の休校を強いられた子どもたちです。多くの制限の中で過ごした1年生の時には、こんな風に笑顔で話しながら給食を食べるなんて、想像できなかったことでしょう。こうやって、6年生と楽しく会食ができることに心から感謝します。



自分の「好き」「得意」をみんなの前で紹介する

17日(火)の「さわやか集会」は、ピアノと歌の得意な子をスカウトして、全校の前で披露してもらうものでした。今回は2人がピアノ(6年、2年)、1人が歌(2年)を披露してくれました。6年生は、自分が好きな曲を弾いてくれました。2年生は、「校歌」を1人がピアノを弾き、1人が歌うという構成で披露してくれました。自分の得意なものとはいえ、舞台上で、そして全校を目の前にして披露できるということに感動しました。10日に行った朝会でも、6年生のなわとび上級者が「はやぶさ」「大車輪」「花火」といった難しい技を舞台上で披露してくれました。どの子も、緊張したと思います。失敗するかもしれないという不安な気持ちと闘いながらも披露してくれたことがうれしいです。自分の得意や好きを、もっと好きにするためには、みんなに見てもらったり、聞いてもらったりして、感想やアドバイスをもらうことが大切かもしれません。認めてもらうことで、自信がつき、もっともっと好きになっていくことを期待します。

3人が披露してくれた後、「校歌」を2年生の子に伴奏してもらって全校で歌いました。今年度中に、豊坂小学校の自慢の校歌をみんなと歌える日もあとわずかです。心を込めて歌って、6年生とのすてきな思い出をつくりたいですね。

